

### ●感染症に対する鍼灸治療のメカニズム

ウイルスは口、鼻から肺、脾、胃、大腸に侵入します。鍼灸治療で体のツボを刺激する事により経絡を通して悪い箇所に白血球を総動員させてウイルスを潰滅し、正常化させようとしています。鍼をすることにより、NK細胞や T細胞の力を促進することが報告されています。

NK細胞は、ウイルス感染した細胞を破壊し、ウイルスの排除を行う作用があります。T細胞には様々な種類が存在するが、ここでは特にウイルス感染に関与する細胞傷害性T細胞を紹介します。細胞傷害性 T細胞は、ウイルス感染した細胞を破壊し、そのウイルスを記憶、そして次に感染した時に迅速な対応を行えるようにする働きがある。鍼施術をすることにより、細菌・ウイルスを排除し、次に同じウイルスに感染しても対応が早くなる可能性があります。

お灸をすることにより、貪食細胞であるマクロファージが施術後と 5 日後に活性化する事が認められています。マクロファージとは、体に入って来る異物(細菌など)に対して、貪食(異物を細胞内に取り込み、殺菌する働き)する作用があります。

### ●鍼灸治療の選穴

肺機能を強化させる基本穴として肺兪、中府、孔最、尺沢から選穴する  
個人の体質、持病の症状に対応する穴を加える